



1. 学科課程

一般教育科目（基礎教養科目・外国語科目・保健体育科目・キリスト教科目）

	履修コード	授業科目 (クラス)	単位数	週 時 間 数		担 当 者	備 考
				1年次			
				前	後		
基礎教養科目	7902	法 学 (短)	2	2		長屋 幸世 山本 慎平 山本 慎平 風戸 真理 風戸 真理 藤木 晶子 藤木 晶子 内山 智 和田 美江 三瀬 敬治 佐々木 敏 角田 和彦 矢吹 哲夫 西井 雅司 遠藤 太郎 川部 大輔 佐藤 俊治 内山 智	8単位を修得すること
	7901	経 済 学 I (短)	2	2			
	7919	経 済 学 II (短)	2	2			
	7915	社 会 学 I (短)	2	2			
	7917	社 会 学 II (短)	2	2			
	7916	心 理 学 I (短)	2	2			
	7918	心 理 学 II (短)	2	2			
	7905	科 学 概 論	2	2			
	7912	シ エ ン ダ ー 論 (短)	2	2			
	7903	生 命 の 科 学	2	2			
	7908	健 康 の 科 学	2	2			
	7924	環 境 の 科 学	2	2			
	7921	音 楽 と 文 化	2	2			
	7925	美 術 と 文 化	2	2			
7913	人 間 と 思 想	2	2				
7914	数 の 世 界	2	2				
外国語科目	7881	英 語 I (A)	①	2		ロバート・ゲティンクス ケビン・リトン ケビン・リトン ロバート・ゲティンクス ケビン・リトン ケビン・リトン デビッド・アンダーソン デビッド・アンダーソン 新 壽春 新 壽春 新 壽春 新 壽春 下田 恭子 下田 恭子 ゲーサ・オルデハーフェル ゲーサ・オルデハーフェル 井川 浩 林 宏和 井川 浩 林 宏和 高野真理子 高野真理子 鄭 斗鎬 鄭 斗鎬 鄭 斗鎬 鄭 斗鎬 田 光子 田 光子	2単位必修
	7882	(B)	①	2			
	7883	(C)	①	2			
	7886	英 語 II (A)	①	2			
	7887	(B)	①	2			
	7888	(C)	①	2			
	7871	英 語 III (会話)	1		2		
	7872	英 語 IV (会話)	1		2		
	7893	英 語 V	1	2			
	7894	英 語 VI	1	2			
	7896	英 語 VII	1	2			
	7898	英 語 VIII	1	2			
	7971	ド イ ツ 語 I	1	2			
	7974	ド イ ツ 語 II	1	2			
	7978	ド イ ツ 語 III	1		2		
	7979	ド イ ツ 語 IV	1		2		
	7951	フ ラ ン ス 語 I (1)	1	2			
	7952	(2)	1	2			
	7954	フ ラ ン ス 語 II (1)	1	2			
7955	(2)	1	2				
7958	フ ラ ン ス 語 III	1		2			
7959	フ ラ ン ス 語 IV	1		2			
7981	ハ ン グ ル I (1)	1	2				
7982	(2)	1	2				
7986	ハ ン グ ル II (1)	1	2				
7987	(2)	1	2				
7991	ハ ン グ ル III	1		2			
7995	ハ ン グ ル IV	1		2			

	履修 コード	授業科目 (クラス)	単 位 数	週 時 間 数		担 当 者	備 考
				1年次	2年次		
				前 通 後	前 通 後		
外 国 語 科 目	7961	中 国 語 I (1)	1	2		顔 明芳 顔 明芳 霜鳥かおり 顔 明芳 顔 明芳 霜鳥かおり 顔 明芳 顔 明芳	
	7962	(2)	1	2			
	7963	(3)	1	2			
	7964	中 国 語 II (1)	1		2		
	7965	(2)	1		2		
	7966	(3)	1		2		
	7967	中 国 語 III	1		2		
	7969	中 国 語 IV	1		2		
	保 健 体 育 科 目	7933	ス ポ ー ツ I (Y)	1	2		
7934		(Z)	1	2			
7937		ス ポ ー ツ II (Y)	1		2		
7938		(Z)	1		2		
キ リ ス ト 教 学 科 目	7943	キ リ ス ト 教 学 I	②	2		日高 嘉彦 日高 嘉彦	4 単位必修
	7945	キ リ ス ト 教 学 II	②	2			

専門教育科目（共通必修科目・選択科目）

	履修 コード	授 業 科 目 (クラス)	単 位 数	週 時 間 数		担 当 者	備 考	
				1 年 次				
				前 通 後	前 通 後			
共 通 必 修 科 目	7741	生活学基礎演習Ⅰ(A)	②	2		川部 大輔 内山 智 山本 慎平 風戸 真理 遠藤 太郎 藤木 晶子	20単位必修	
	7742	(B)	②	2				
	7743	(C)	②	2				
	7744	(D)	②	2				
	7745	(E)	②	2				
	7746	(F)	②	2				
	7751	生活学基礎演習Ⅱ(心)	②		2	藤木 晶子		
	7752	(文)	②		2	風戸 真理		
	7753	(福)	②		2	久野真知子		
	7754	(経)	②		2	山本 慎平		(暮)は2018年度以降開講せず
	7755	(情)	②		2	内山 智		
	7756	(住)	②		2	遠藤 太郎		
	7757	(ク)	②		2	川部 大輔		
	7672	生活創造専門演習(心)	④		2	藤木 晶子		
	7674	(文)	④		2	風戸 真理		
	7675	(福)	④		2	大澤 真平		
	7677	(経)	④		2	溝口 雅明		2018年度以降開講せず
		(暮)	④		2			
	7679	(情)	④		2	内山 智		
	7681	(住)	④		2	遠藤 太郎		
7682	(ク)	④		2	川部 大輔			
7692	基礎情報処理(A)	②	2		内山 智			
					藤木 晶子			
7693	(B)	②	2		内山 智			
					藤木 晶子			
7694	(C)	②	2		内山 智			
					藤木 晶子			
7695	(D)	②	2		内山 智			
					藤木 晶子			
7696	生活文化創造論	②	2		風戸 真理			
7697	生活経済創造論	②	2		山本 慎平			
7698	芸術文化創造論	②	2		遠藤 太郎			
7759	アセンブリⅠ(生)	②	2		川部 大輔			
					川部 大輔			
7760	アセンブリⅡ(生)	②		2	藤木 晶子			
					内山 智			
					山本 慎平			
選 択 科 目	7701	食生活と健康	2	2		尾澤 典子	2019年度開講せず 集中講義	
	7709	ファッション・アパレルビジネス	2		2	石切山祥子		
	7705	生活福祉論	2	2		山内 太郎		
	7761	社会調査法	2		2	風戸 真理		
	7762	家族文化論	2		2	風戸 真理		
	7708	エイジング論	2	2		新田 雅子	2019年度開講せず	
	7711	現代子ども論	2		2	扇子 幸一		
	7712	発達心理学(生)	2		2	藤木 晶子		
	7713	社会心理学(生)	2		2	藤木 晶子		
	7714	生活心理学	2		2	中村 浩		
	7715	カウンセリング論(生)	2		2	中村 浩		
	7716	生活心理学研究法	2		2	藤木 晶子		
	7717	生活支援実習	2	4		久野真知子		
7718	流通マーケティング論	2		2	宮入 隆			
7719	生活と金融保険	2		2	斉藤 正広			
						選択科目から22単位以上修得すること		



2. 履修の方法

卒業に必要な単位

生活創造学科の卒業の認定を受けるためには、一般教育科目14単位、及び専門教育科目42単位（共通必修科目20単位、選択科目22単位）を含み56単位以上を修得し、さらにその他の履修していない一般教育科目、専門教育科目並びに北星学園大学等で修得した科目（10単位まで）10単位以上を含め66単位以上を修得すること。

1. 一般教育科目

以下の①～④を合わせて14単位を修得しなければならない。

- ① **基礎教養科目**
8単位を修得しなければならない。
- ② **外国語科目**
外国語は必修であり、1年目において英語Ⅰ・Ⅱの2科目2単位を修得しなければならない。
- ③ **保健体育科目**
2単位を履修することができる。履修方法については、体育教員より別に指示がある。
※将来編入学等により教育職員免許状の取得を希望する学生は履修することが望ましい。
- ④ **キリスト教科目**
キリスト教Ⅰ・Ⅱ（4単位）を必修とする。

2. 学科専門教育科目

- ① **共通必修科目**
生活学基礎演習Ⅰ、生活学基礎演習Ⅱ、生活創造専門演習、基礎情報処理、生活文化創造論、生活経済創造論、芸術文化創造論、アセンブリⅠ・Ⅱの9科目20単位を必修とする。
- ② **選択科目**
22単位修得しなければならない。
履修モデルに従って、履修することが望ましい。また生活創造専門演習を履修するための指定科目があるので注意すること。

3. 上記の一般教育科目及び専門教育科目を修得すると**合計56単位**となる。残りの不足単位は履修していない一般教育科目および専門教育科目並びに単位互換協定に基づき北星学園大学等で修得した科目から10単位履修する。以上で卒業認定に必要な最低単位**66単位**となる。しかし、向学の意志を持ち、広い教養と専門知識を学ぶために進学したのであるから、70～80単位くらい履修することをすすめる。

※大学への編入学を考える場合は、一般教育科目（特に英語）をできるだけ多く履修しておくことが望ましい。

生活創造専門演習の選択について

1. 1年次後期において、(1)住居・インテリアデザイン、(2)クリエイティブデザイン、(3)情報システム、(4)生活文化、(5)生活心理、(6)生活福祉、(7)経済・経営のいずれかの履修モデルに沿って履修するかを選択しなければならない。選択した履修モデルの生活創造専門演習のための基礎固めとして、対応する生活学基礎演習Ⅱを1年次後期より履修することになる。
2. 各履修モデルの定員はほぼ均等とし、人数調整は、1年次前期の生活学基礎演習Ⅰ、生活文化創造論、生活経済創造論、芸術文化創造論、アセンブリⅠの出席と学習態度および成績を主に考慮し、学科会議において決定する。
3. 2年次開講の生活創造専門演習の選択は、原則として1年次後期に決定した履修モデルに従うものとする。



3. 生活創造学科 履修モデル一覧

1年次前期末に履修モデルが決定し、学生は、以下の表にある履修モデル科目を系統的に学んでいくことになります。2年次後期には、それまでの講義や演習、実習を踏まえ、短大の総まとめとして卒業論文、卒業制作に取り組みます。◎科目は、各履修モデルの重要科目ですので、必ず履修するようにしてください。

また、卒業に必要な単位数は66単位以上ですので、◎科目以外の学科選択科目も計画的に履修するよう心がけてください。

(1)住居・インテリアデザイン 履修モデル (担当：遠藤 太郎)

美しく生き生きとした生活空間とはどのようなものでしょうか。そのような空間の様々な事例を知ることから始め、そのような空間の構成手法を学び、さらにそれを図面や模型として表現する技術を身に付けます。実習を通して製図の方法を学び、卒業制作においては各自のアイデアに基づいて住宅の設計案を作り上げることを目標としています。

	生活創造専門演習 (住) (卒業制作：住宅設計)
学科専門共通必修科目	◎生活学基礎演習Ⅱ (住)
学科専門選択科目	◎住生活論, ◎住設計基礎実習, ◎インテリアデザイン演習, ◎住宅空間設計演習, ◎生活創造と色彩, Webパブリッシング, グラフィックデザイン論, デジタルグラフィックス基礎 ◎カラープランニング, ◎住設計応用演習Ⅰ, ◎住設計応用演習Ⅱ, ◎住宅CAD設計Ⅰ, ◎住宅CAD設計Ⅱ, ◎都市環境創造論, 写真表現
一般教育科目	◎美術と文化

(2)クリエイティブデザイン 履修モデル (担当：川部 大輔)

生活の中から新しい造形の可能性を発見し、確かな技術で形にする力を身に付けることを目的とした履修モデルです。グラフィックデザインを軸に、イラストレーションやマルチメディアの分野もカバーし、新しい表現によるメッセージを社会に広く発信することのできる人材の養成を目指します。

	生活創造専門演習 (ク) (卒業制作：アート&デザイン)
学科専門共通必修科目	◎生活学基礎演習Ⅱ (ク)
学科専門選択科目	◎基礎デッサン, ◎グラフィックデザイン論, ◎デジタルグラフィックス基礎, ◎Webパブリッシング, ◎生活創造と色彩, ◎マルチメディア, インテリアデザイン演習, ファッション・アパレルビジネス ◎写真表現, ◎カラープランニング, ◎グラフィックデザイン演習Ⅰ, ◎グラフィックデザイン演習Ⅱ, 応用マルチメディア, パフォーマンス
一般教育科目	◎美術と文化

(3)情報システム 履修モデル (担当：内山 智)

プログラミングを通して Information Technology の不易 (基本的技術や考え方) を学び、流行に対応できるようになることを目指します。卒業制作では Web プログラミングで情報処理システムを構築し、論理性と創造性を養います。Web プログラミングとは、Web ブラウザを使って入出力を行う仕組みを作ることで、通常は目にするのでできないコンピュータとインターネットの姿が見えてきます。

	生活創造専門演習 (情) (卒業制作：ソフトウェアデザイン)
学 科 専 門 共 通 必 修 科 目	◎生活学基礎演習Ⅱ (情)
学 科 専 門 選 択 科 目	生活情報論, ◎デジタルグラフィックス基礎, ◎ Web パブリッシング, ◎応用情報処理, ◎グラフィックデザイン論, ◎マルチメディア ◎情報処理論, ◎写真表現, ◎応用マルチメディア, パフォーマンス, ◎情報収集と検索
一 般 教 育 科 目	-

(4)生活文化 履修モデル (担当：風戸 真理)

異文化を学ぶことで視野を広げ、北海道の魅力を発見し、世界に発信しましょう。

この履修モデルでは、世界の文化・社会の多様性を学びつつ、身近な地域の生活を、自分の足で歩いて調べるフィールドワークの方法で調査します。同時に、モノ作りをはじめとする生活技術と、情報を他者に伝えるコミュニケーション能力を身につけることをめざします。

	生活創造専門演習 (文) (卒業論文作成)
学 科 専 門 共 通 必 修 科 目	◎生活学基礎演習Ⅱ (文)
学 科 専 門 選 択 科 目	◎家族文化論, ◎マルチメディア, ◎ビジネスコンピューティング, デジタルグラフィックス基礎, 住生活論, 生活福祉論, 社会心理学 ◎社会調査法, ◎国際社会論, ◎北海道の生活と経済
一 般 教 育 科 目	社会学Ⅰ, ◎社会学Ⅱ, 美術と文化

(5)生活心理 履修モデル (担当：藤木 晶子)

私たちの日常生活の中には、さまざまな心理学的問題が内在しています。交通標識は何色がよいかという知覚的な問題から、なぜ私はあの人とは気が合わないのだろうといった性格的・社会心理学的問題など、数え上げればきりがありません。生活創造専門演習では、私たちの身近にある心理学的問題を取り上げて、心理学的に理解していくことを目指します。

	生活創造専門演習 (心) (卒業論文作成)
学 科 専 門 共 通 必 修 科 目	◎生活学基礎演習Ⅱ (心)
学 科 専 門 選 択 科 目	◎社会心理学 ◎カウンセリング論, ◎生活心理学研究法, ◎発達心理学, ◎生活心理学
一 般 教 育 科 目	心理学Ⅰ, ◎心理学Ⅱ

(6)生活福祉 履修モデル (担当：藤原 里佐・大澤 真平)

私たちの身近には、様々な生活問題や社会問題が潜在しています。子育てに対する不安や負担感、障害者の自立が阻まれる差別や偏見、高齢者介護をサポートする社会資源の不足など、社会の中での「困難」や「矛盾」は、より深刻な問題として私たちの前に現れているのではないのでしょうか。社会福祉は、特別な状況におかれた人の特殊な問題ではなく、誰でもが当事者になりえる、また、担い手になる可能性のある性格をもっています。この履修モデルでは、生活者としての視点で、そうした問題を考察し、暮らしのなかでの「福祉」について考えていきます。

	生活創造専門演習（福）(卒業論文作成)
学 科 専 門 共 通 必 修 科 目	◎生活学基礎演習Ⅱ（福）
学 科 専 門 選 択 科 目	◎生活福祉論，◎生活支援実習，◎エイジング論，◎現代子ども論，家族文化論
	◎女性福祉論，◎地域社会論，◎国際社会論，発達心理学，社会調査法
一 般 教 育 科 目	社会学Ⅰ，ジェンダー論

(7)経済・経営 履修モデル (担当：山本 慎平)

日々の暮らしや北海道経済を「お金・商品・サービス」「雇用・経営」「女性と労働」「地域経済」等の切り口から理解し、豊かで堅実な経済感覚，生活感覚を身に付けることをねらいとしています。就職に直結する選択科目群を多数用意し、実務に即した内容で幅広く実社会を知ることができます。生活創造専門演習では、グローバル化，情報化の急進展によって大きく変貌しつつある社会や産業，ライフスタイルをトータルにとらえていきます。

	生活創造専門演習（経）(卒業論文作成)
学 科 専 門 共 通 必 修 科 目	◎生活学基礎演習Ⅱ（経）
学 科 専 門 選 択 科 目	◎ビジネスコンピューティング，◎生活とサービス産業，◎現代社会と企業，◎現代女性とキャリア，ファッション・アパレルビジネス，◎現代社会と消費者問題，簿記・会計Ⅰ，簿記・会計Ⅱ
	◎応用ビジネスコンピューティング，◎経営情報論，◎流通・マーケティング論，◎生活と金融保険，セクレタリー実務，北海道の生活と経済，◎現代社会と法，女性福祉論
一 般 教 育 科 目	経済学Ⅰ，経済学Ⅱ，法学



4. 履修単位表（卒業に必要な最低単位数）

		単 位 数			
		必 修	選 択		
一般教育科目	基礎教養科目		8単位	10単位 ※	一般教育計 14単位
	外国語科目	2単位			
	保健体育科目				
	キリスト教科目	4単位			
	計	6単位	8単位		
専門教育科目	共通必修科目	20単位		10単位 ※	専門教育計 42単位
	選択科目		22単位		
	計	20単位	22単位		
	北星学園大学等の修得科目				
	計	26単位	30単位	10単位	10単位
合 計		66単位			66単位

※北星学園大学やその他の協定校で修得した単位は、10単位まで卒業単位数に算入できる。

5. スクリーニング

1年次終了までに次の条件を満たしていないときは、2年次の必修科目である「生活創造専門演習」の履修ができない。

次の(1), (2), (3), (4)のうち3項目以上かつ総単位数で20単位以上修得していること。

- (1) 生活学基礎演習Ⅰ 2単位
- (2) 生活学基礎演習Ⅱ 2単位
- (3) 基礎情報処理 2単位
- (4) 英語Ⅰ・Ⅱの2科目 2単位